

第1回松原地区のまちづくり有識者会議について

1 会議概要

- 日 時 令和6年6月21日（金）14時00分～15時30分
- 場 所 リンクステーションホール青森 4F 小会議室（1）
- 案 件 （1）「松原地区のまちづくりビジョン」の策定について
（2）中央市民センター等の統合施設の建設候補地について
- 出席委員 7名

2 有識者からの主な意見

案件（1）「松原地区のまちづくりビジョン」の策定について

- ・統合施設について、垂直避難が可能となる防災機能等、松原地区で必要と考えた機能をもった建物になるのであれば、現在の方向性に賛成である。
- ・ビジョン素案にある5つの必要機能イメージについて、様々な機能を持たせるのか、核を決めるのか、検討が必要である。
- ・棟方志功記念館について、棟方志功のことが分かるような場所になってほしい。
- ・棟方志功だけに捉われず、広く青森市の豊かな芸術や文化資産を引き継ぎ、未来に向け、立体的に文化芸術を学ぶ場所となってほしい。

案件（2）中央市民センター等の統合施設の建設候補地について

- ・統合施設の建設場所は、旧市民図書館跡地が良いのではないかと。土地利用については、将来的な見通しをもって計画する必要がある。
- ・棟方志功記念館の庭園や近くの堤小学校等の複数の施設と一体的に行き来できる形で建設できると良い。
- ・高齢者や身体障がい者の方を意識したバリアフリーの設備を検討する必要がある。
- ・冬期間の積雪も考慮し、土地の有効活用のため、駐車場面積は広く取った方が良く考える。また、駐車料金を徴収する等収入を得る仕組みも考える必要がある。
- ・松原という地区全体から色々なものを発信できる形にすること、20年、30年先を見通しながら、世代を超えて皆が利活用できるデザインを考えていく必要がある。